

新千家
流

插心直枝笄

冬

79

3734

4



門 7 9
號 3734
卷 4

冬

蕭灑麝梅吐玉霞
馨香淨動月銜真
誰知鼎內齎齋實
正是園中傲雪等

昭和九年
九月二十八日
購本

スイセン科
水仙花 和名 二六キ 異名 凌浪仙ト云

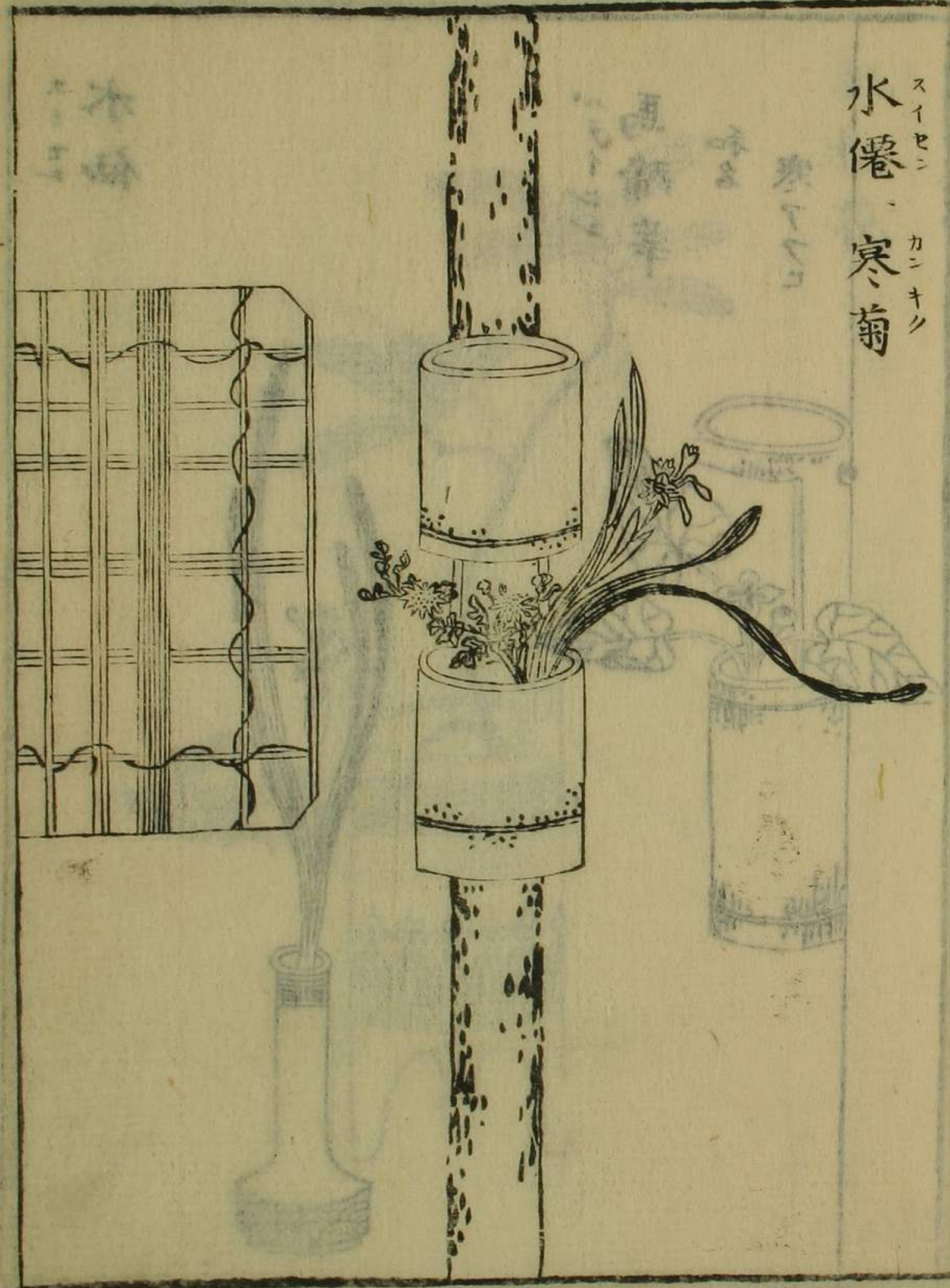


後水尾院の
 御製
 あつたらしの浪と後一仙の
 あつたらしの浪と後一仙の
 あつたらしの浪と後一仙の

山茶花 椿文字非



山茶花 椿文字非



水僊 寒菊

スイセン カキキク

病人雨空の花よ
 せりり紐ありるうら
 山花意をうらぬ社子の
 一の准繩ト



櫻帰花 卷栢 長生不死草

オクラカハナ

イワヒバ

一名オウゴンシサウ

枇杷花



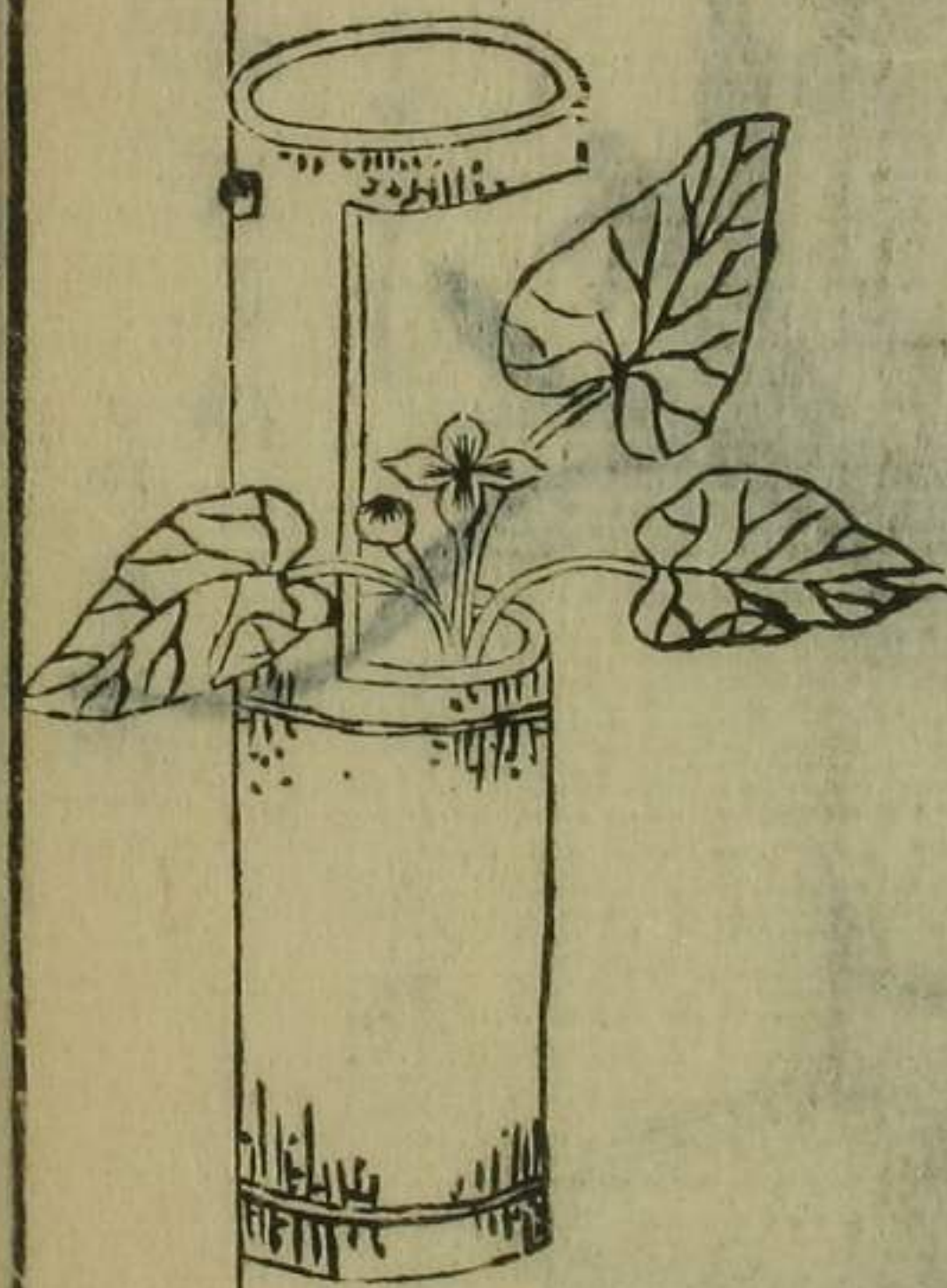
水仙 スイセン



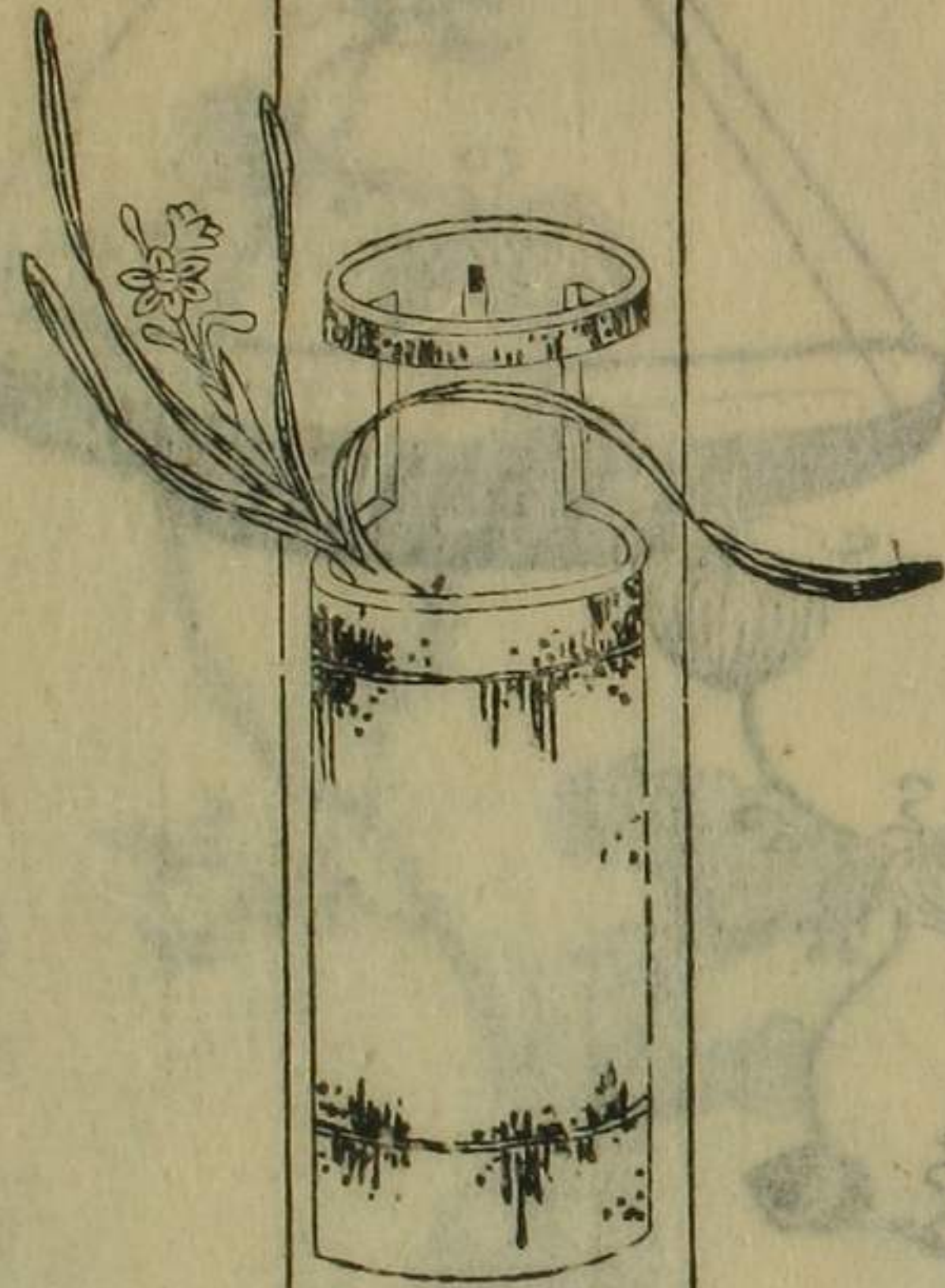
馬蹄草 パテイシン

和名

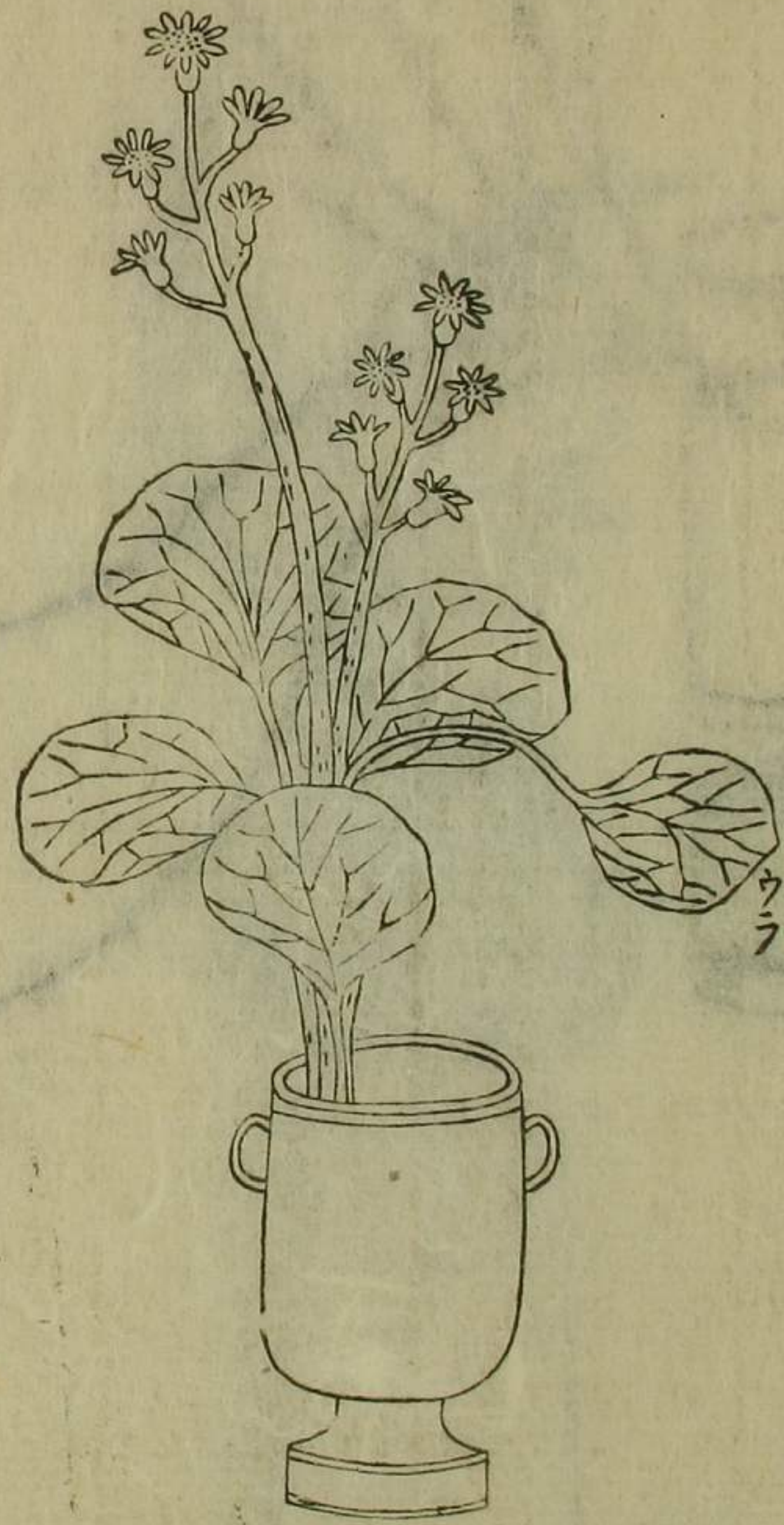
寒アフリ



水仙 スイセン



索吾花 ツクコクハ
ツワノ花

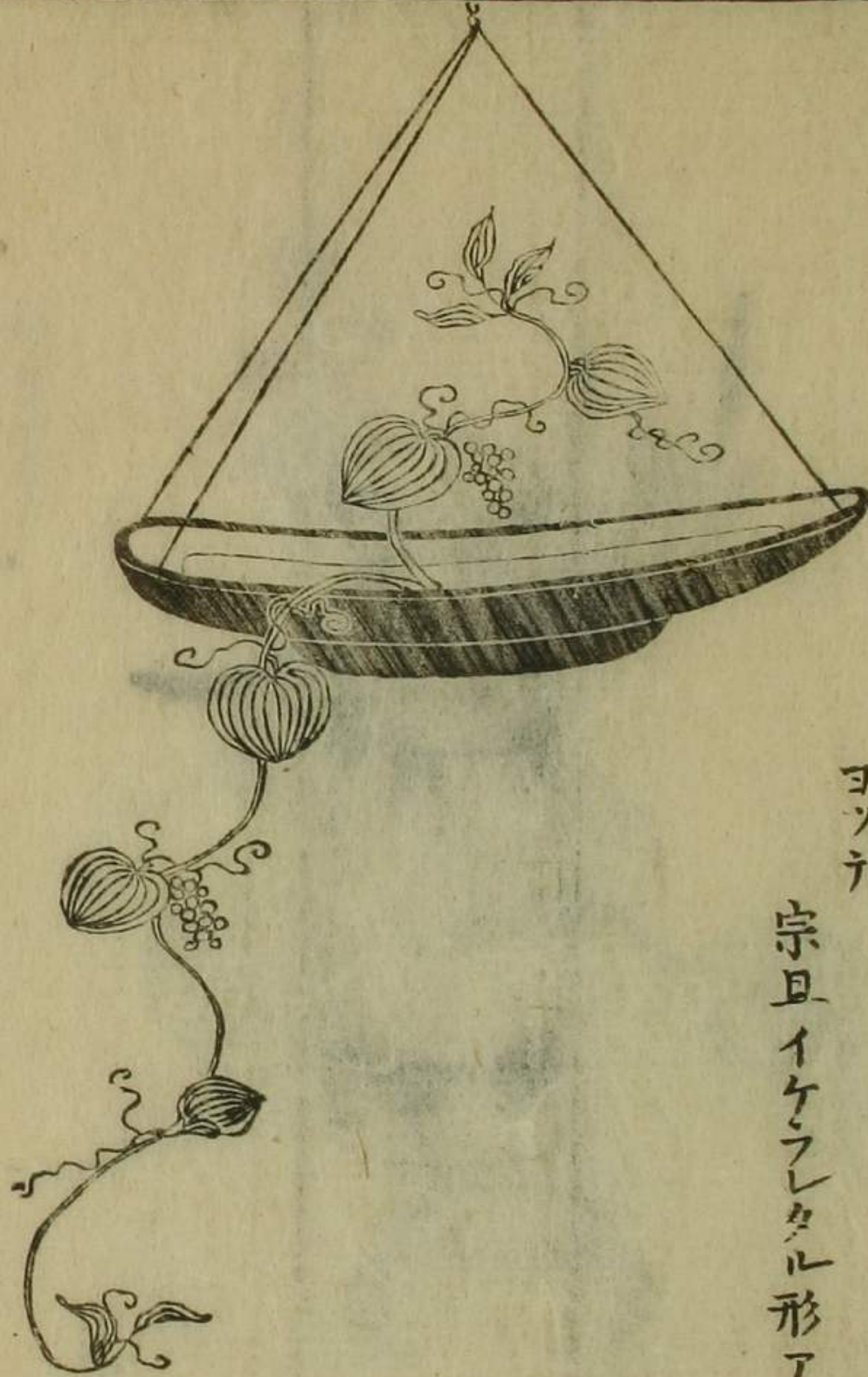


冬

五

山帰来草

俗名 粮艸



別種 萩蕨ト云物アリ 髣髴タリハツカツハ
刺アリ山帰来ニ刺ナシ此實年越テ不落
ヨツテ 宗旦イケフレタル形アリ

冬ニ至梅ニ葉牡丹



ヤツテ
八手花

漢名
金剛纂
通脱木ノ説非也



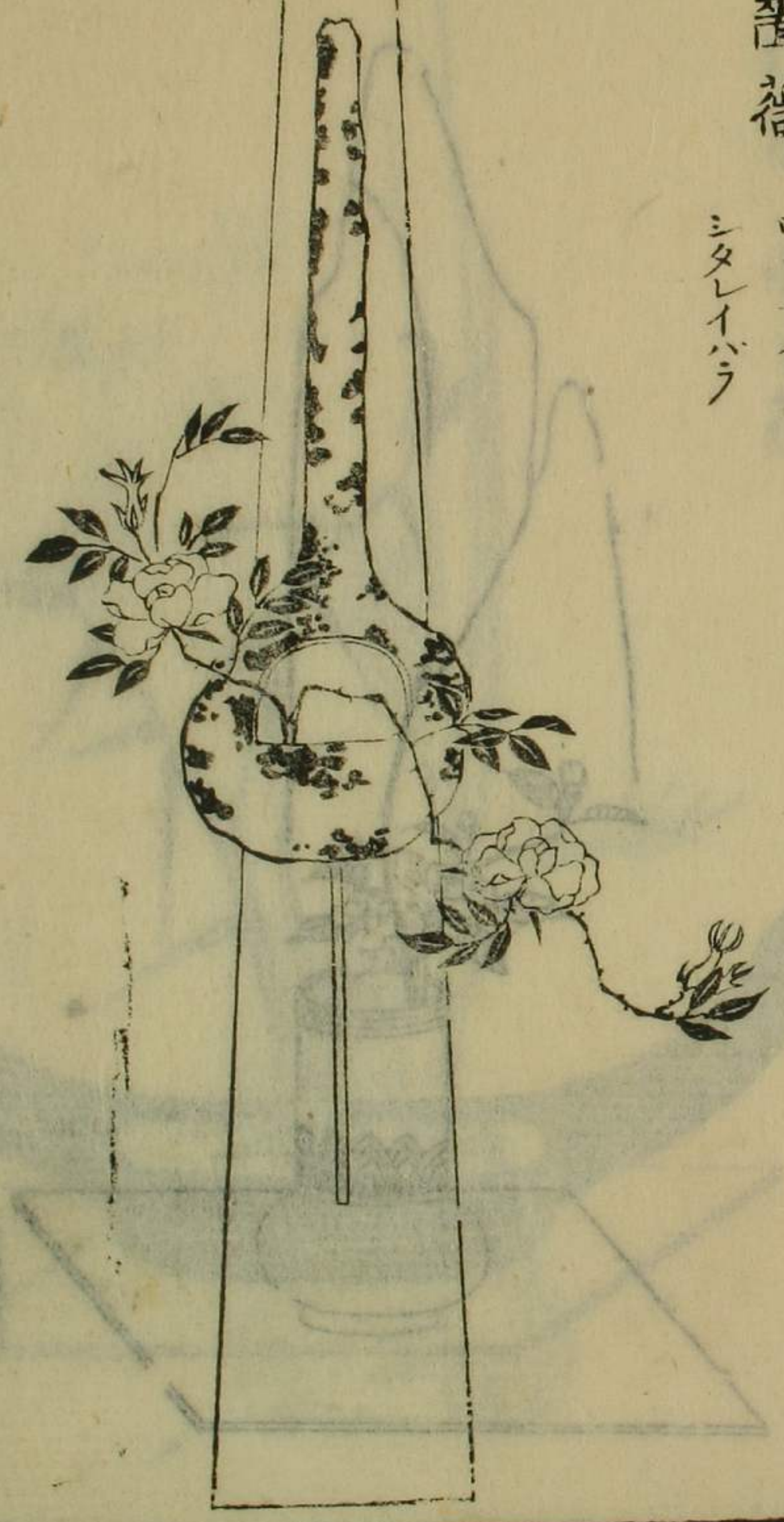
八手花ノ葉形也

セウヒ
薔薇

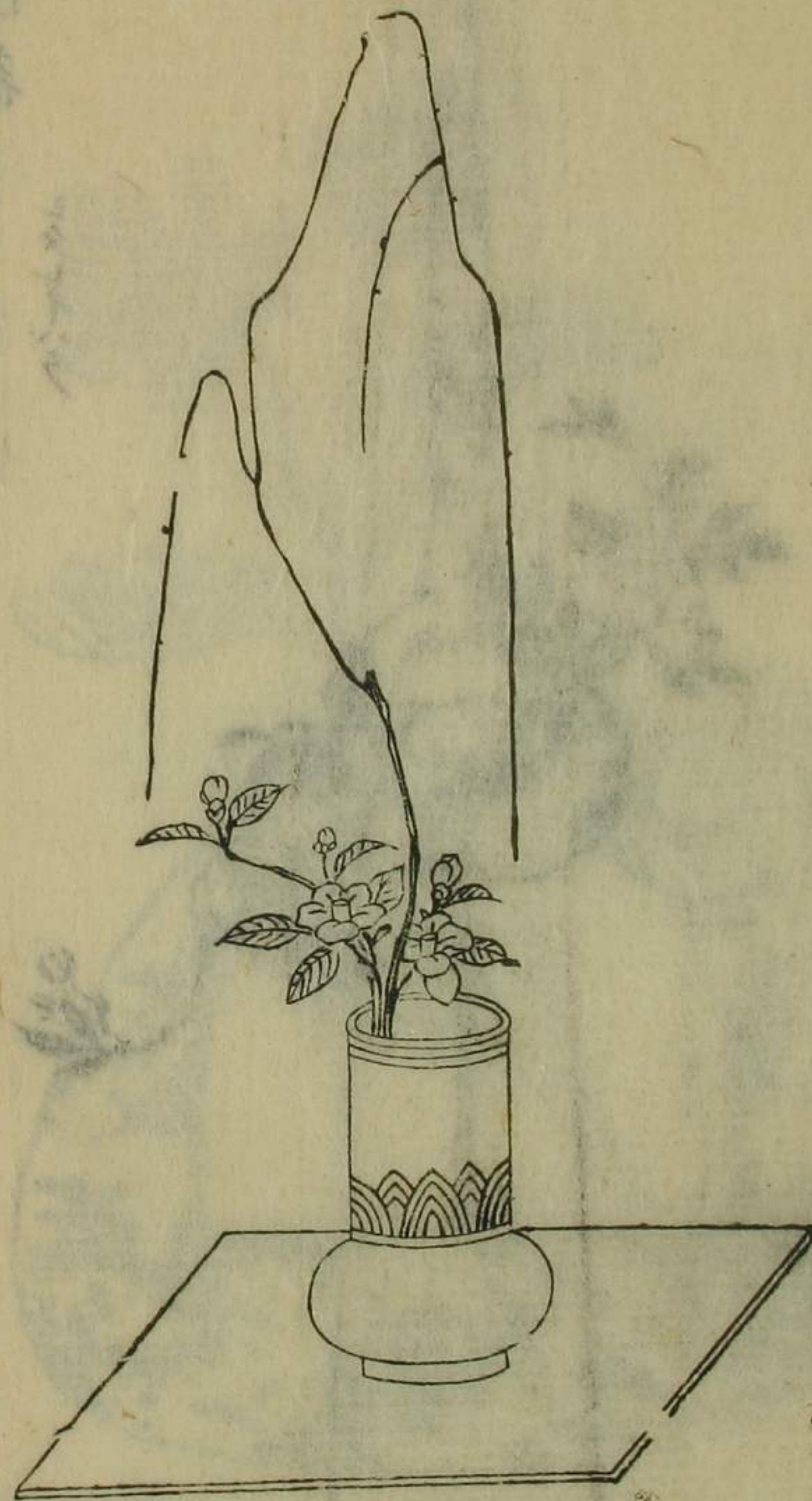
和名
ロウオバラ
シタレイバラ

實ヲ
金墾子ト云

四季ノ花

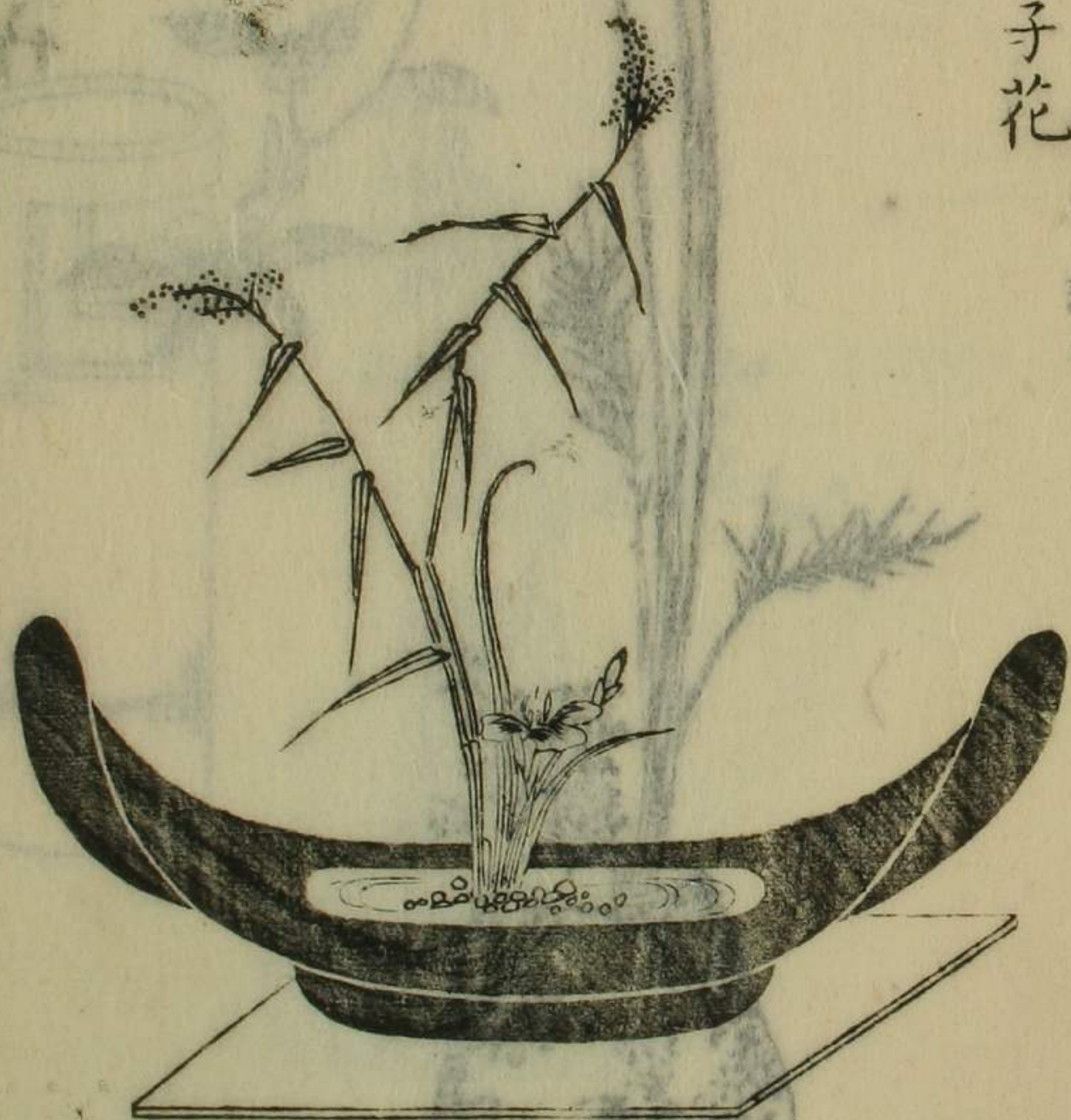


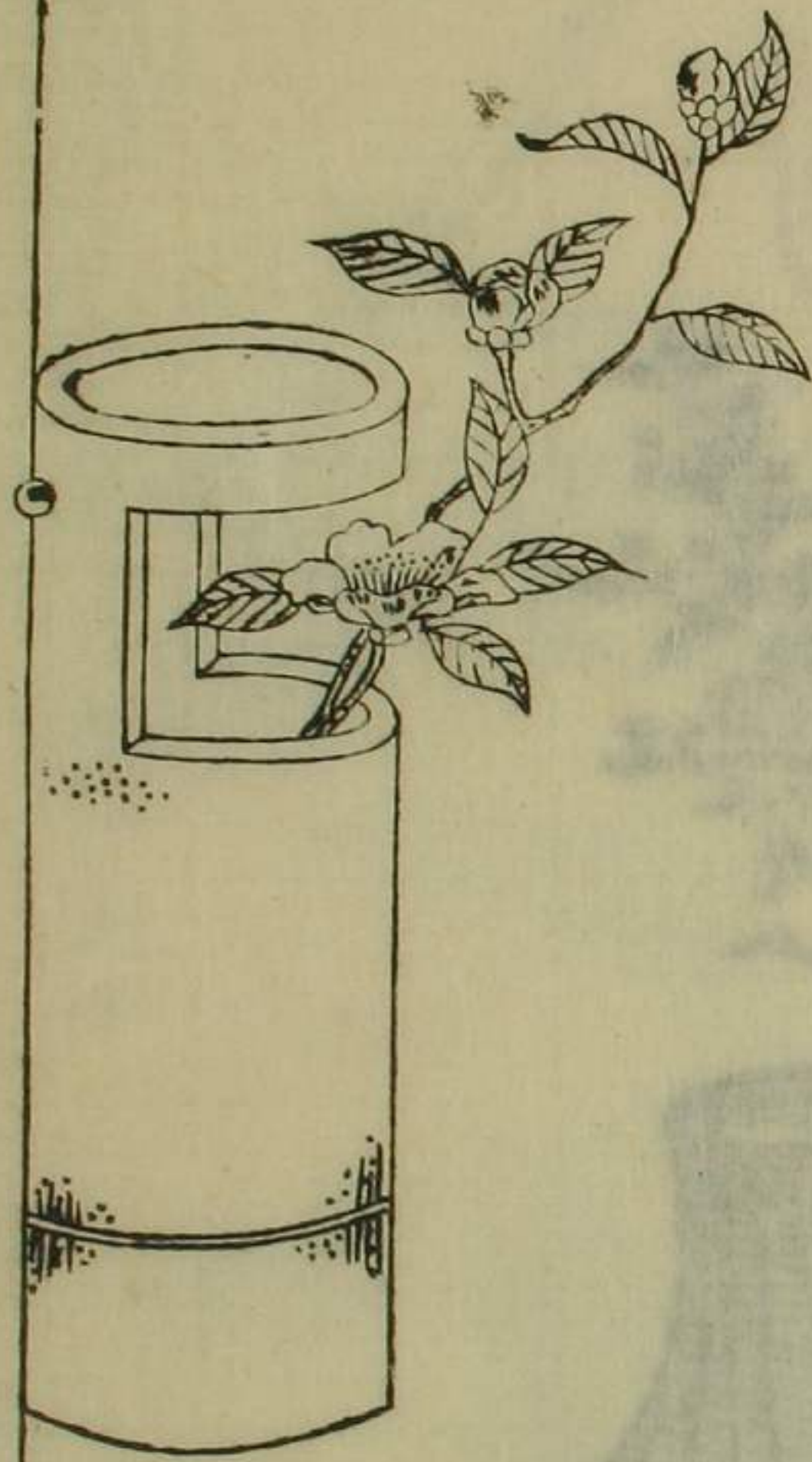
ヤナギ ツバキ
柳 山茶花



カレアシ
枯蘆 燕子花

カキツバタノ字ニ誤来ナラズ





山梅花

サンクハ

山茶花ノ字ニ誤来ルヲ父ニ

寒菊

カンキク

寒竹

カンチク

枯藎
カキ

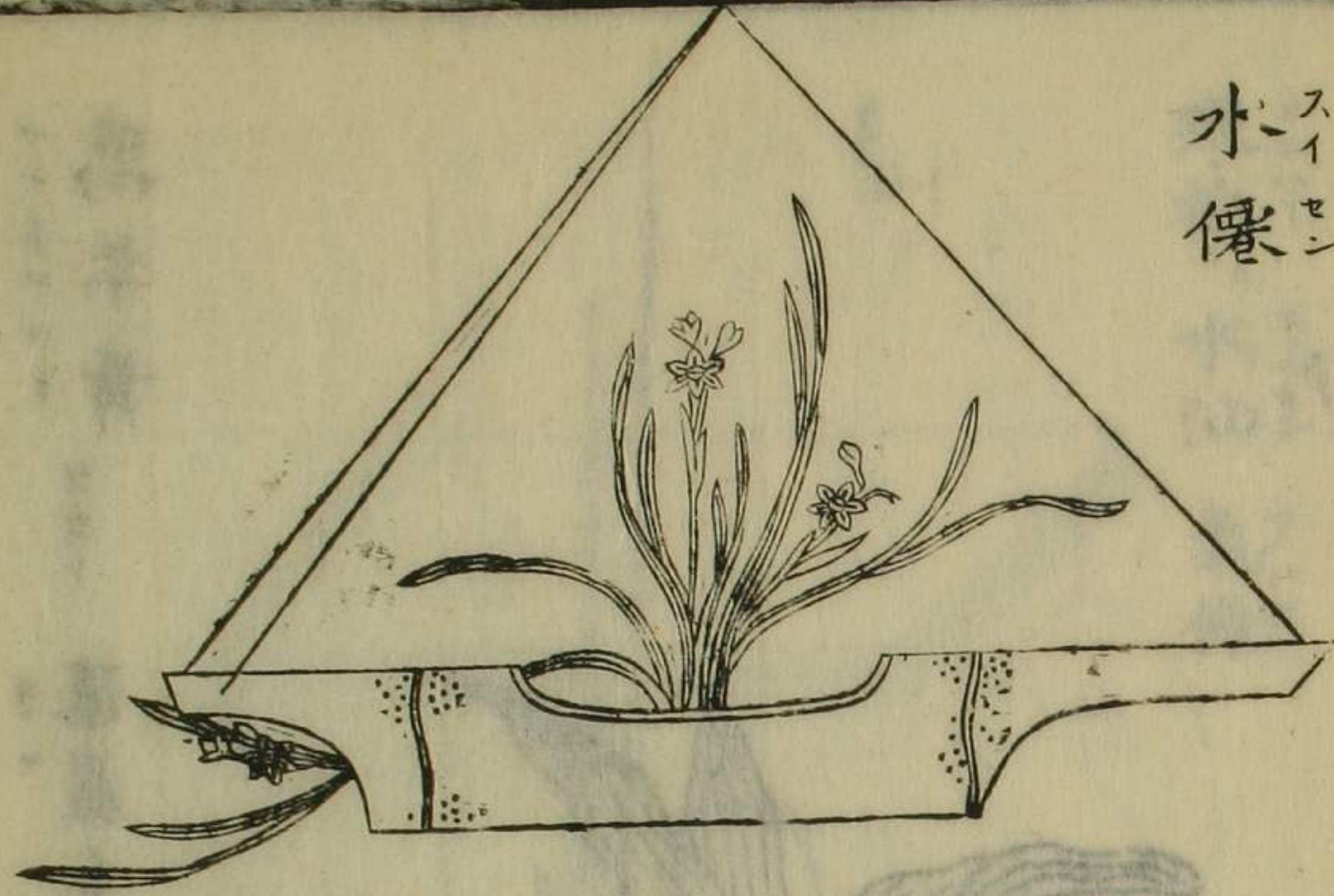
寒竹
カンチク



六

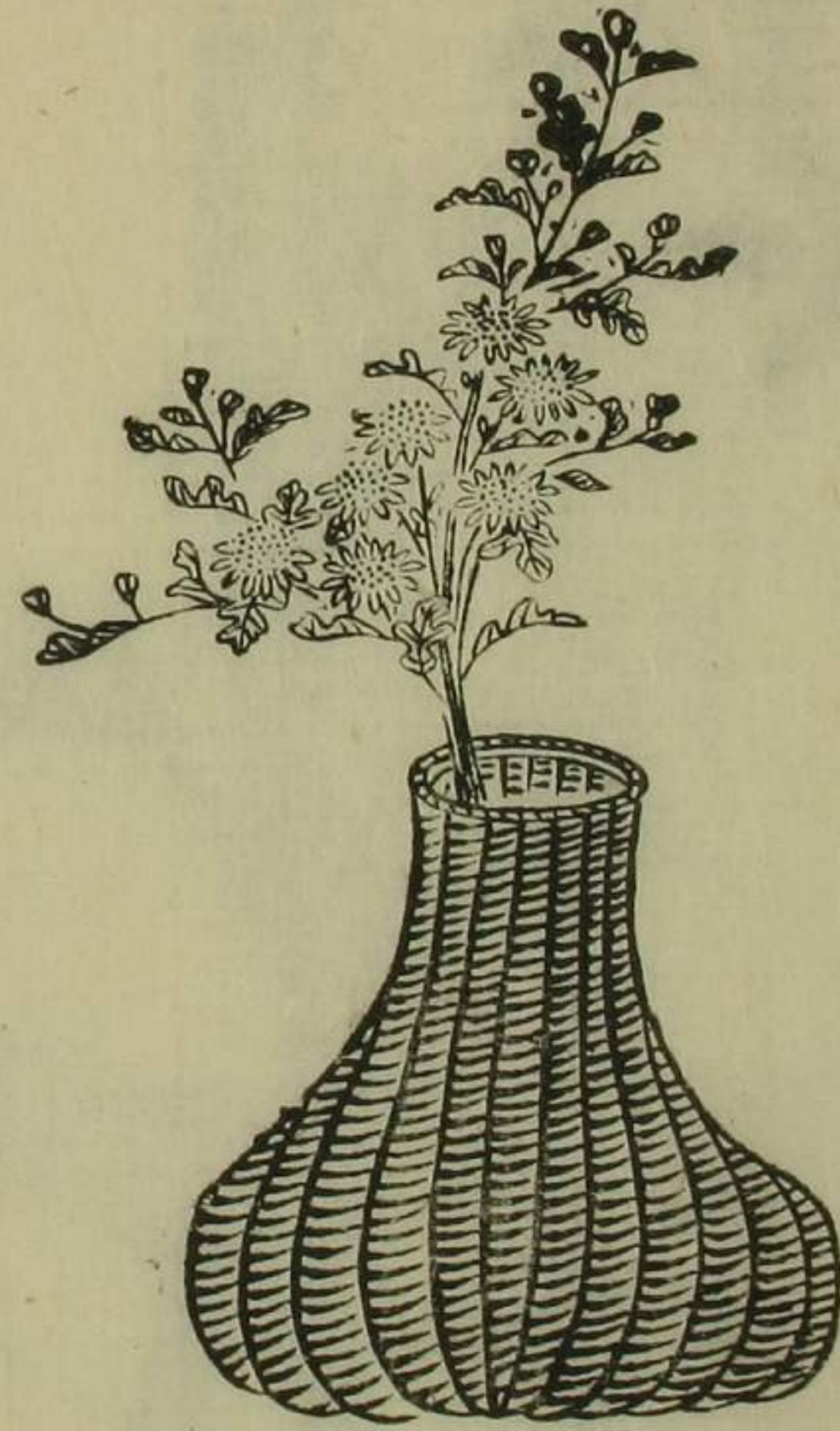
九

水僊 スイセン



水僊圖

寒菊 カンキク



十

萬年青 マンネンセイ
ヲモト リロ
藜蘆ノ文字非也



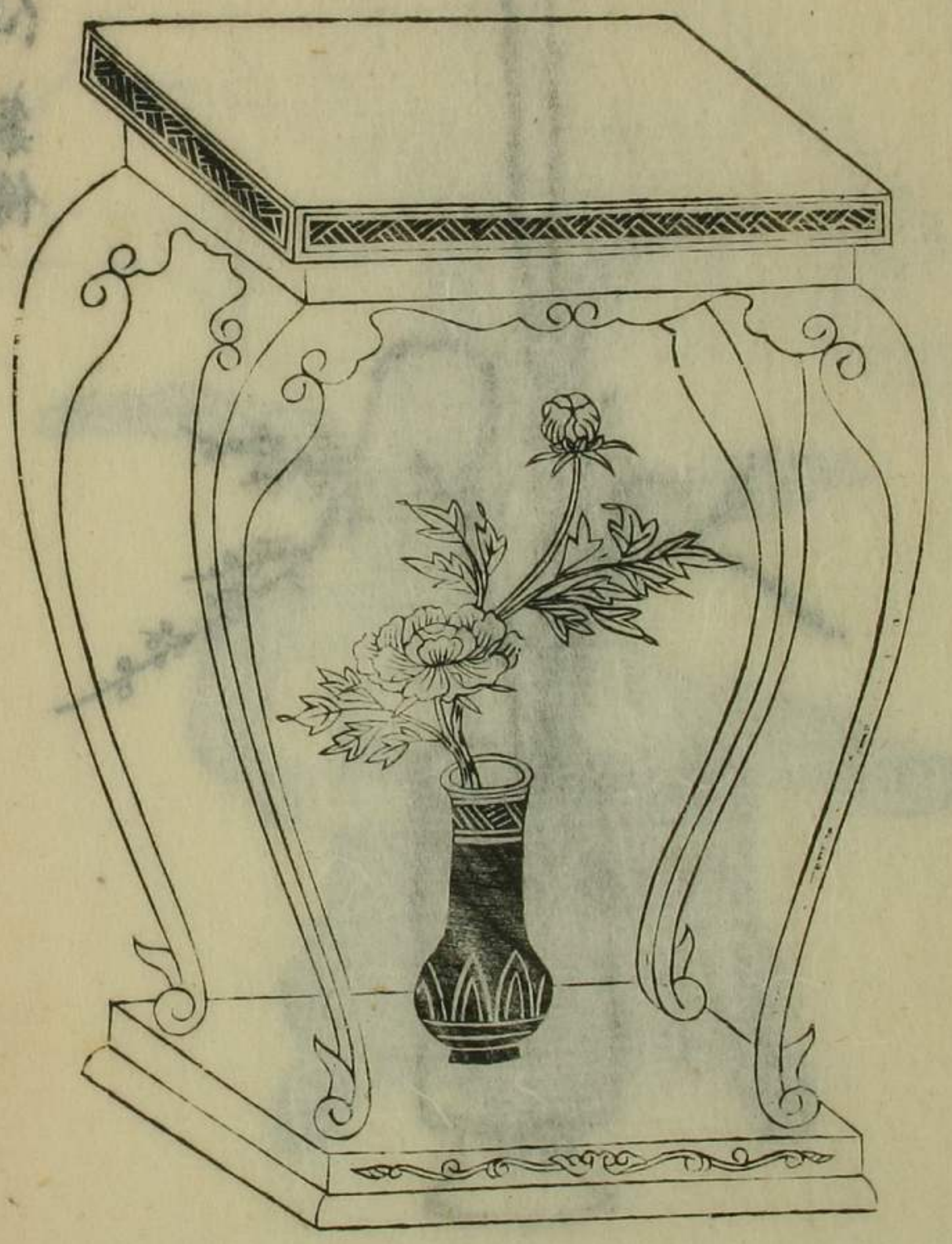
水

寒梅 カンバイ
水仙 スイセン
氣條 ツハエ



冬牡丹 フユホタン

卓下



入江玉蟾撰

生花百鏡附録

入江玉蟾撰

古の拙者キ一花挿ふの時もろ作のり
 一古人の云掛熱の給人也る歎の西都よさらしと
 各即ちしゝるは葉葉のしゝるくもるを
 かくのそしゝるのしゝるありあつるふあつるのふよふ
 画いよる花あつる時たふの葉花はくも叶葉のそしゝ
 いよふふのあつる後りて見ても画あつるのやふふ
 生きたる時たふの花よとよ一給ては生一かく
 とよふ掛あつるのふあつるはは古のふあつるのり

しつゝ 脩行名の果あり中は御物止る座小花と生
下座小料紙尻と置合しるは此例と云々生るゝ
さうりあり時のもゆるり悪言と云々のありあり

△糸撥古法の半

一 圓のりの布を束山殿始く製せんし終はす法と糸撥いとばらの
古法先編ふわしつとくくくも又此圓ハ外高家の
細さい糸いとち〜糸いと撥ばらち〜糸いと撥ばらち〜圓のりと〜糸いと撥ばらと〜
す法おらあり〜糸いと撥ばらと〜糸いと撥ばらと〜糸いと撥ばらと〜糸いと撥ばらと〜

糸いと撥ばらの半

嘉永義政公の御書 堂上名の半

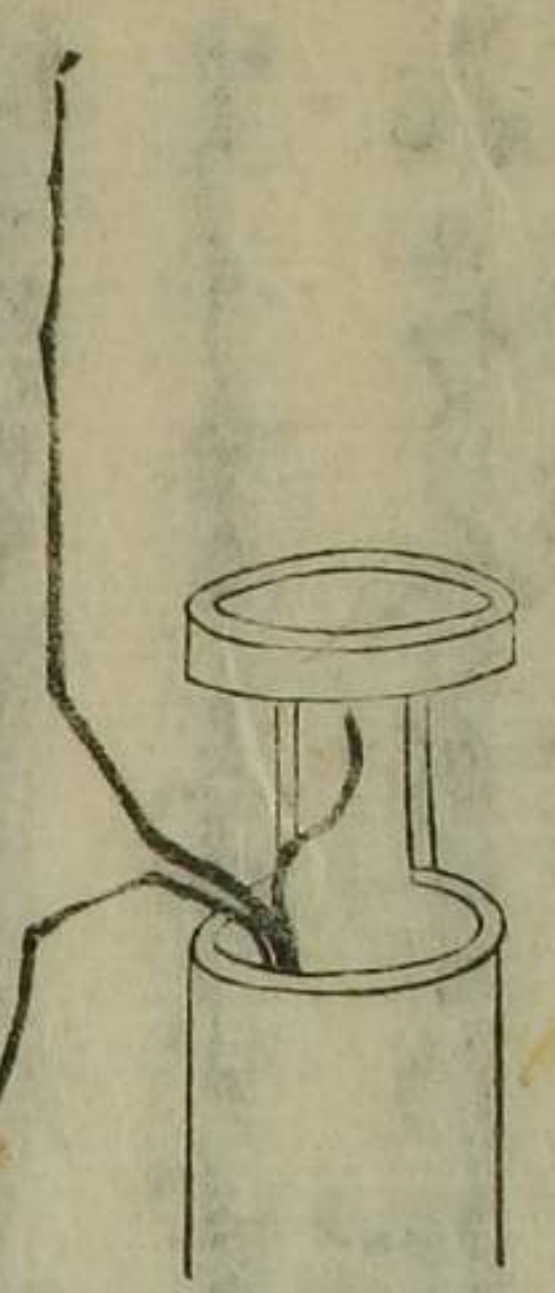
急業是全く始り御物止る座小花と生るゝ
る物ち中小折釘と自ら仕入るも花入掛はないりかの
其後定法揺りて右の糸め〜糸いと撥ばらと〜糸いと撥ばらと〜
海とわけ今の法。改訂らね〜見入る上の掛
布のる物ちをく高時圓のり一糸いと撥ばらと〜糸いと撥ばらと〜
代ちるか後此の布の〜糸いと撥ばらと〜糸いと撥ばらと〜
ちり〜糸いと撥ばらと〜糸いと撥ばらと〜

△掛板の半

一 掛板しつゝ名の座小圓のりと〜糸いと撥ばらと〜糸いと撥ばらと〜古田殿の御物止る

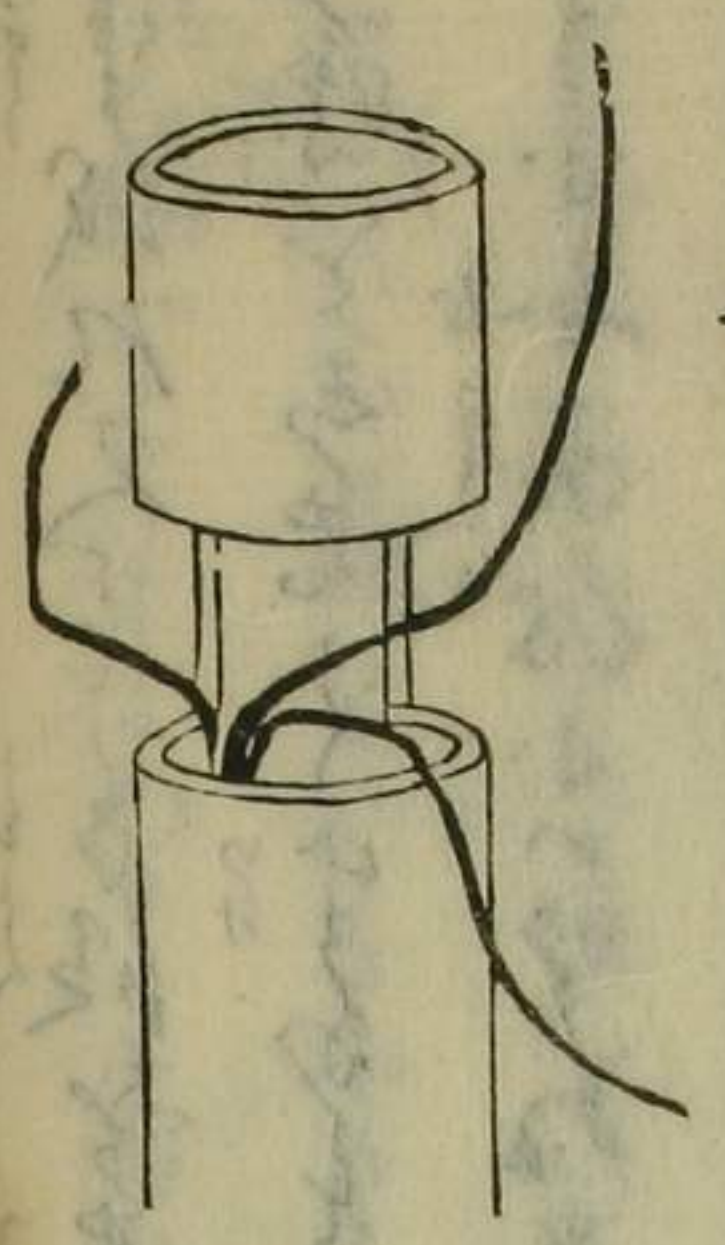
條無ふらり今のちけ入の物とてあふ
 古くともあふ人ともあふ

○掛花つけ形定格



左口の底の務もやうり
 右口のゆめまへ
 右口のゆめまへ
 とあふ

同定格の變

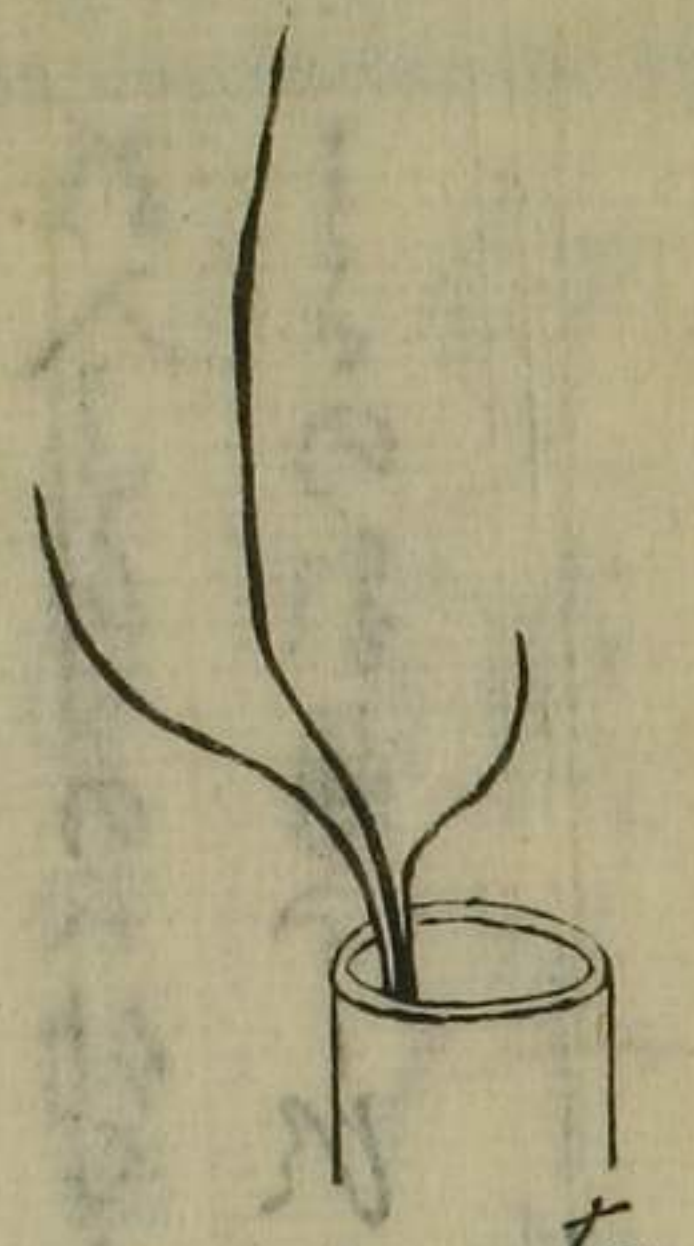


右口の



左口の底
 右口のゆめまへ
 右口のゆめまへ
 とあふ

置花さう定格



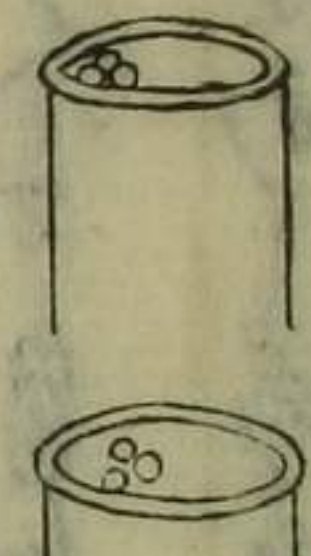
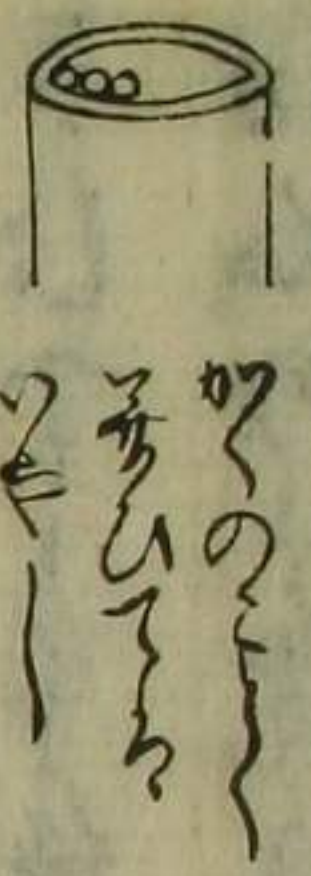
右口の

同定格



右口の

花出口の
 花出口の水厚
 二種より小花莖花莖へ出口の
 花出口の
 花出口の




かひ細めく水きり
きねのちり

此條より花を花一八ちと葉の廣さそのもの廣さ
出中のあち廣さく一廣さく葉の廣さくそのもの廣さ
花より花を花より花より花より花より花より花より
別集合めく花も出あつぬと花つれ入へ一花より
お入へたあひ竹くさくさく一別よ花記十あまき
まの記用へた葉くさくさく線のくさくさく

白王漢洋書竹藉發賣所

三重縣下伊賀國上野本町通中町北八番地

桂雲堂 幽豆住 伊兵衛 

大坂府下東區備後町四丁目四十番地

同 同支店 幽豆住 幾之助 

藏版製本之記

